

芸術文化観光専門職大学の設置認可について

令和元年10月24日に文部科学大臣へ設置認可申請していた芸術文化観光専門職大学は、文部科学大臣から10月23日（金）付けで設置が認可され、令和3年4月に開学します。

- ・ 1学部1学科で芸術文化と観光を学ぶ芸術文化・観光学部は全国初
- ・ 国公立大学で初めて本格的な演劇を学べる大学
- ・ 国公立の専門職大学としては全国で2番目、前身となる教育機関のない専門職大学としては国公立大学初 ※令和2年4月開学 静岡県立農林環境専門職大学

1 設置の目的

芸術文化及び観光の双方の視点を生かし、地域に新たな活力を創出する専門職業人を養成するとともに、地域に根ざした教育研究活動の推進と地域及び国際社会への貢献を目指します。

2 大学の概要

- (1) 名称 芸術文化観光専門職大学
- (2) 所在地 兵庫県豊岡市山王町7-52（JR豊岡駅より徒歩8分）
- (3) 学部／学科 芸術文化・観光学部 / 芸術文化・観光学科
- (4) 学位 芸術文化学士（専門職）又は 観光学士（専門職）

3 大学の特色

- ① 国公立大学初、演劇を本格的に学び、これを基礎に芸術文化・観光分野で地域を活性化する高等教育機関
◇1学部1学科の4年制大学
- ② 1年次に全員がコミュニケーション演習を履修
◇演劇手法を用いて「心を動かす対話的コミュニケーション能力」を培う、「コミュニケーション演習」
- ③ 学生に寄り添う徹底した少人数教育
◇1学年80人で編成し、授業は原則40人以下で実施
- ④ 地域とともに深い問題意識を育み、そこから社会に新たな価値を提案、実装する教育研究
◇地域と一体となった地域リサーチ&イノベーション（仮称）センターによる創造活動
◇地域をフィールドにした実践教育、人づくり
- ⑤ 世界に通用する地域の主役を養成
◇専門職業人として活躍できる実践的な語学教育
◇学生全員が体験できる海外留学プログラム

作成年月日	令和2年10月28日(水)
作成部局 課室名	企画県民部専門職大学準備室 専門職大学準備課

- ⑥ 授業の1/3（約800時間）を実習に充てた実践的な教育課程
◇地域産業と連携した充実した実習プログラムを展開
◇行政、住民、学生が一体となった芸術文化観光プロジェクト実習（豊岡演劇祭等）の実施
◇アクティブラーニングによる実践的かつ体系的な実習の実施

4 経緯・今後の予定

- | | |
|------------|-------------------------------|
| 令和元年10月24日 | 大学設置認可申請 |
| 10月30日 | 大学学舎・学生寮建築工事起工式 |
| 令和2年10月22日 | 大学設置・学校法人審議会が文部科学大臣へ認可を可とする答申 |
| 10月23日 | 文部科学大臣が大学設置認可 |
| 10月26日 | 文部科学大臣からの認可書を受理 |
| 12月12日 | 入学者選抜試験〔学校推薦型〕の実施 |
| 12月20日 | 入学者選抜試験〔総合型〕の実施 |
| 令和3年2月7日 | 入学者選抜試験〔一般(A日程)〕の実施 |
| 2月末 | 大学学舎・学生寮竣工 |
| 3月4日 | 入学者選抜試験〔一般(B日程)〕の実施 |
| 4月1日 | 開学 |

- 5 問い合わせ先 企画県民部専門職大学準備室専門職大学準備課管理班 TEL078-362-3377

芸術文化観光専門職大学の概要

1 基本事項

- (1) 大学名称 芸術文化観光専門職大学
Professional College of Arts and Tourism
(当初申請時：国際観光芸術専門職大学)
- (2) 所在地 兵庫県豊岡市山王町7-52
- (3) 開学年月日 令和3(2021)年4月1日
- (4) 学部名称 芸術文化・観光学部
Faculty of Arts and Tourism
(当初申請時：芸術文化観光学部)
- (5) 学科名称 芸術文化・観光学科
Department of Arts and Tourism
(当初申請時：芸術文化観光学科)
- (6) 入学定員 80名
- (7) 収容定員 320名
- (8) 学長予定者 平田オリザ氏
(劇作家、演出家、四国学院大学社会学部教授)

2 学位の名称

- 芸術文化学士(専門職) Bachelor of Arts
観光学士(専門職) Bachelor of Tourism
(当初申請時：芸術文化観光学士(専門職))

3 設置の目的

(1) 芸術文化及び観光の双方の視点を生かして地域の活力を創出する専門職業人の養成

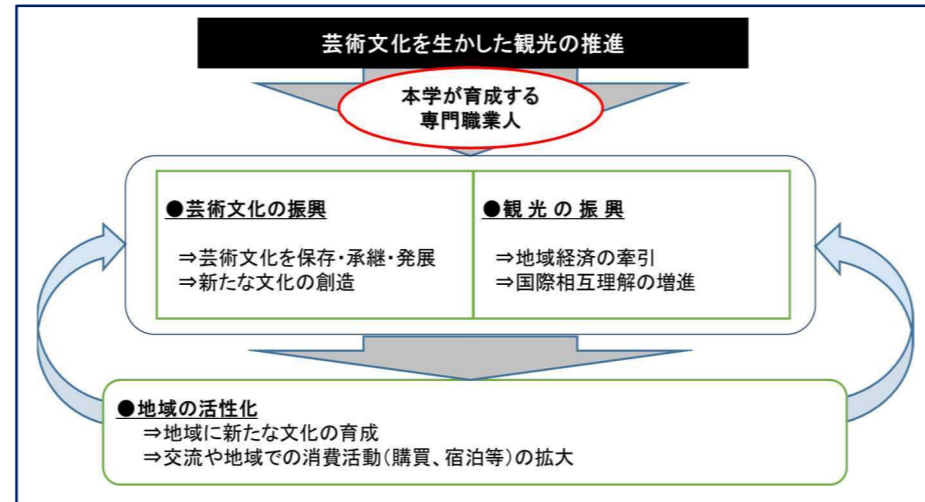
- ① 芸術文化及び観光の双方の視点を持って、芸術文化の振興及び観光の振興並びに地域の活性化につながる好循環の実現に貢献できる専門職業人の育成のための教育を展開

(2) 地域に根ざした教育研究活動の推進と、地域及び国際社会への貢献

- ① 但馬地域をフィールドに、芸術文化及び観光の視点を生かした新たなイノベーションを起こし、地域の活性化につながる教育研究活動を推進
- ② 大学を核とする産学官連携及び小中高大連携の強化、生涯教育の充実、地域との協働等を推進
- ③ 地域リサーチ&イノベーションセンター(仮称)を拠点に、観光地経営及び芸術文化政策等の進展に寄与するローカル&グローバルなネットワークを形成

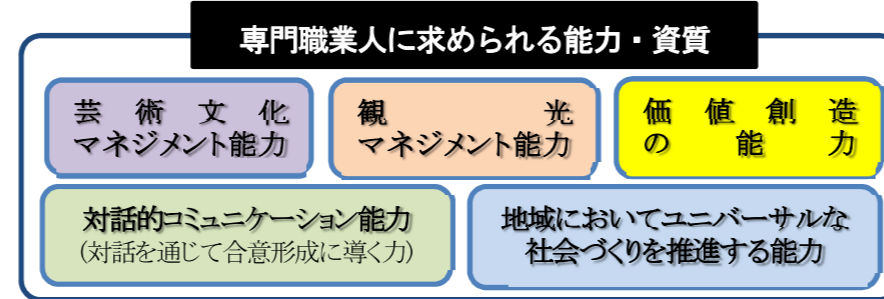
4 大学の基本理念

- ① 芸術文化及び観光の双方の視点を生かして地域の活力を創出する専門職業人の養成
- ② 地域のオープン・イノベーション拠点の形成
- ③ 地域の発展・繁栄及び新たな国際ネットワークの形成に貢献



5 教育上の目的

次に掲げる能力を併せ持った専門職業人を育成



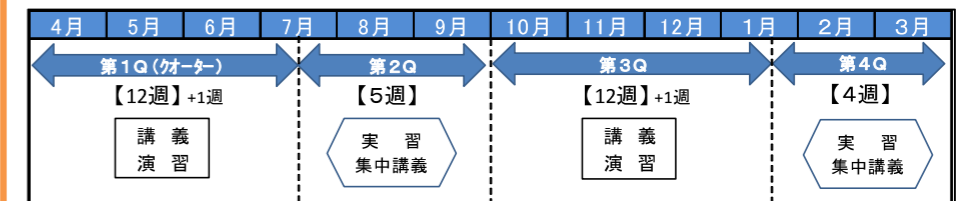
〔教育研究の実施方針〕

- ① 演劇的手法を取り入れた対話的コミュニケーション能力の育成
・1年次には全学生が演劇手法を用いた「コミュニケーション演習」を履修
- ② 「理論」「実践」を繰り返して深化する、新たな学びのスタイル
・学年歴を4期に区切るクォーター制を導入 (6(1)②参照)
・講義(60分)+アクティブラーニング(60分)の授業スタイルを基本
- ③ 段階的かつ重層的に体系化した実践教育
・芸術文化分野及び観光分野を架橋し、専門実務から企画運営・マネジメントに至るまで段階的に体系化した実習カリキュラムを編成
・卒業単位の1/3(40単位)に相当する実習カリキュラムを配置
- ④ 社会に新たな価値を実装し、ローカル&グローバルに展開する教育研究
・「地域と創る大学」(地域と一体となってイノベーションを創出)
・「地域と伸びる大学」
(地域をフィールドにした実践教育、人づくり等に貢献)
・「地域から世界、世界から地域へと新たな価値を発信する大学」
(国際社会に通用する人材育成、価値創造・情報発信のローカル&グローバルなハブ機能)

6 教育方法・履修指導・研究指導方法等

(1) 教育方法

- ① クラス担任及びアカデミックアドバイザー制の導入
・1年次はクラス担任制(少人数(14名程度)によるクラス編成)
・2年次以降は学生と教員が個別面談を行いながら履修計画を作成する学びのシステムであるアカデミックアドバイザー制を導入
- ② 1コマ60分による1学年4期のクォーター制の導入
・学年歴を4期に区切るクォーター制を導入し、講義形式の系統学修と講義で得た専門知識を実習先で実践する経験学修を繰り返す「ラーニング・ブリッジング」の手法により学生の学びを深める。



(2) 学生寮における教育

- ・1年次は原則全員入寮し、寮内において反転授業を実施
・留学生を受け入れ、共同生活を通じて多様性を養成

(3) 実践的な語学教育の実施

- ・海外実習等の実施
全学生が原則、海外実習又は海外語学研修を履修
海外実習：ドイツの劇場、台湾のホテル等
海外語学研修：アメリカ、イギリス等
・キャリア英語(職業分野の実用英語を学ぶ授業)など実践的な語学教育の実施

7 教員の編成

- ① 専任教員として41人を採用予定。うち21人が実務家教員
② 観光分野(経営分野含む)の教員は19人(うち実務家11人)
芸術文化分野の教員は19人(うち実務家10人)
実習に対応した教員を配置

専任	学問分野別教員数(人) ※()は実務家教員					計
	観光		芸術文化	語学	情報	
	観光	経営				
教授	6(2)	3(2)	4(1)			13(5)
准教授	2(1)	1(1)	4(3)	1	1	9(5)
講師	1(1)	1(1)	7(4)	1		10(6)
助教・助手	2	3(3)	4(2)			9(5)
計	11(4)	8(7)	19(10)	2	1	41(21)

芸術文化観光専門職大学の概要

8 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施方針）

学生の卒業後の進路を見据え、芸術文化分野及び観光分野のいずれかを主となる専攻、一方を副となる専攻とし、主となる専攻では専門的な知識・技能を学び、副となる専攻では基礎的な知識・技能を学ぶことにより、本学が育成する専門職業人として必要となる知識・技能を身に付けさせる。

- ・ 主となる専攻が芸術文化分野 → 芸術文化学士（専門職）
- ・ 主となる専攻が観光分野 → 観光学士（専門職）

ア 基礎科目（生涯にわたり自らの資質を向上させ、社会的・職業的自立に必要な能力を育成する科目）
一般大学の教養科目に相当

- ① 対話的コミュニケーション能力を養成する「コミュニケーション演習」を配置
- ② キャリアアップの基礎となるリテラシー科目を配置

イ 職業専門科目（専攻の特定職業に必要な理論的かつ実践的な能力、職業分野全般に必要な能力を育成する科目）
芸術文化マネジメント能力、観光マネジメント能力及び価値創造の能力を養成するため、専攻分野毎に右図の体系で履修

① コア科目群の配置（両専攻共通：右図 緑色の部分の科目）

芸術文化及び観光を学ぶ上で軸となる重要な科目群であり、芸術文化と観光の双方の視点を生かして新たな価値を創造し、地域の活力を創出する能力を養う

- a 芸術文化マネジメント能力、観光マネジメント能力及び価値創造の能力のそれぞれ基礎となる知識・技能を養成するための必修科目
- b 芸術文化及び観光の双方の教員により芸術文化及び観光の双方の視点を生かし、新たな価値を創造するための知識・技能を身に付けさせる「相互アプローチ科目」

② クロスオーバー科目（副となる専攻科目の選択必修科目：右図 左右の矢印の科目）

芸術文化及び観光の双方の分野を超えて、架橋して専門的な知識・技能を養う

ウ 展開科目（専攻分野に関連する応用的能力であり、創造的役割を果たすために必要な能力を育成する科目）

- ① 多様性を理解し、相互に支え合う社会づくりを進める力を養成する科目を配置（ダイバーシティ）
- ② 安心・安全で持続可能な社会づくりを進める力を養成する科目を配置（サステナビリティ）

エ 総合科目（修得した知識・技能を総合し、専門的職業を担うための実践的かつ応用的な能力を総合的に向上させる科目）

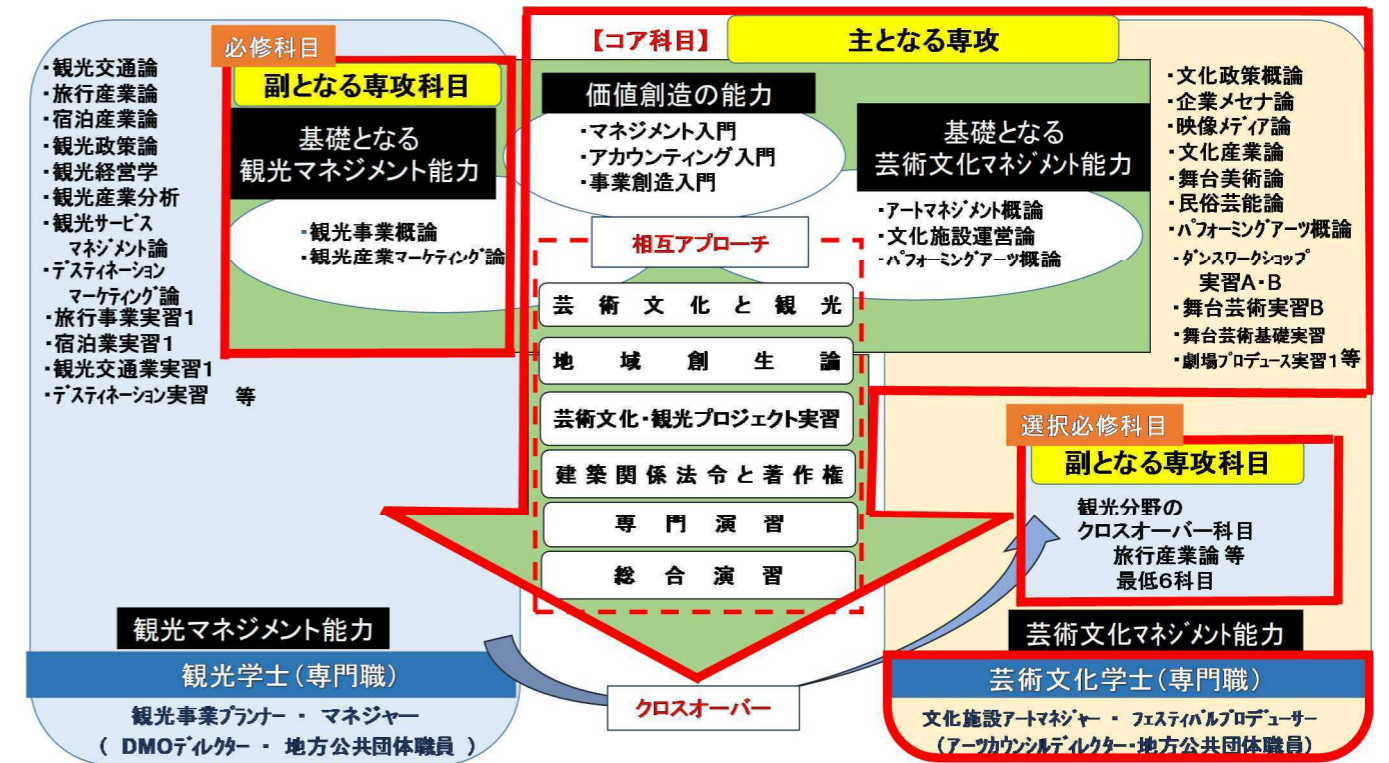
芸術文化及び観光分野の双方の教員が、専門演習での研究を深化・発展させ、芸術文化と観光の視点を生かして新たな価値を創造し、地域の活力を創出する方策を考える力を養成する「総合演習」を配置（卒業演習）

【開講科目・卒業要件】

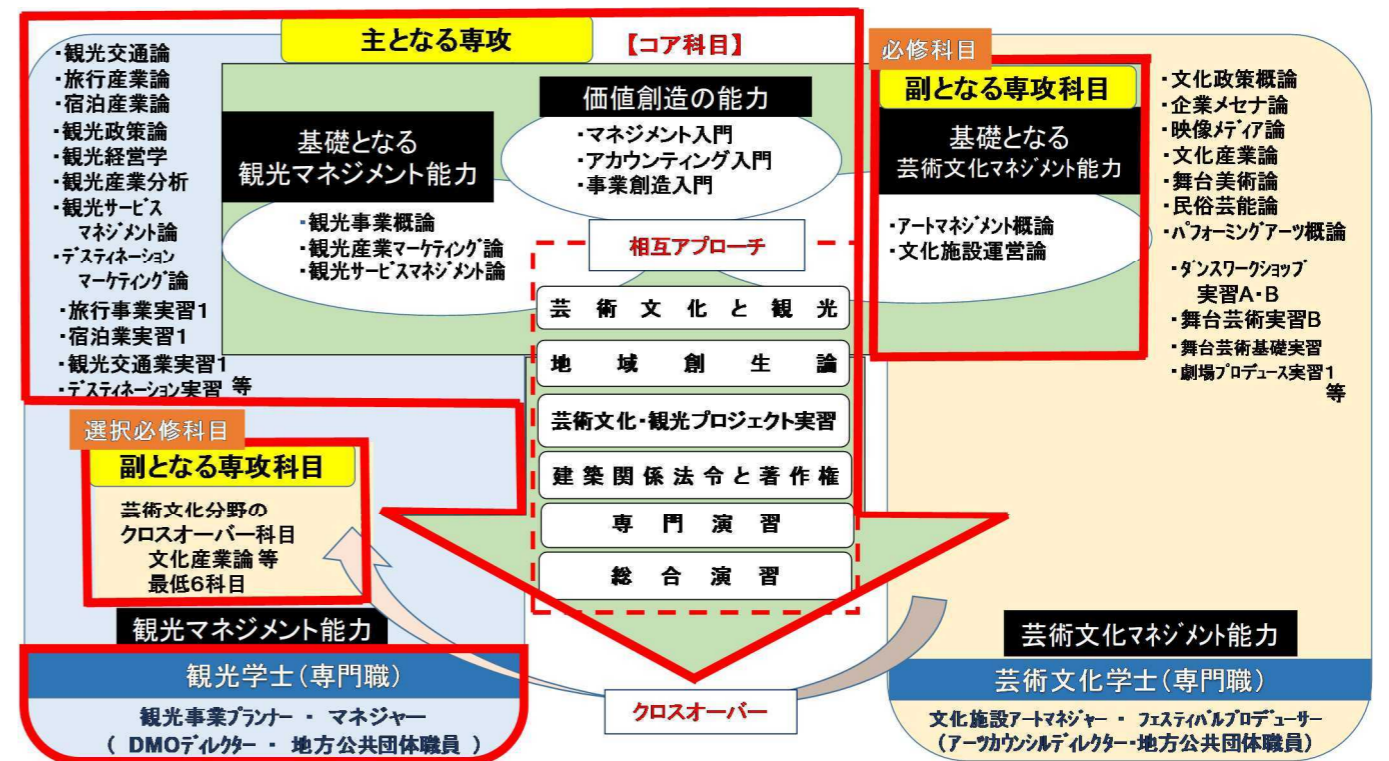
区分	開講科目数（単位数）		卒業要件	
	理論演習	実習	最低取得単位数	必修科目要件
基礎科目	26（47）		20	9科目 19単位
職業専門科目	70（133）	36（83）	90	11科目 23単位
展開科目	13（26）		20	0科目 0単位
総合科目	1（4）		4	1科目 4単位
計	110（210）	36（83）	134	21科目 46単位

職業専門科目の履修体系

【主となる専攻（芸術文化分野）】芸術文化学士（専門職）



【主となる専攻（観光分野）】観光学士（専門職）



芸術文化観光専門職大学の概要

9 ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

(1) 各専攻に共通するディプロマ・ポリシー

基礎的な知識・技能及び対話的コミュニケーション能力
 (学士として必要な知識・技能及び対話を通じて相互理解・合意形成を図る力)

価値創造の能力
 (芸術文化を磨き、観光に生かして新たな価値を生み出していく力)

地域においてユニバーサルな社会づくりを推進する能力
 (ダイバーシティ：多様性を理解し、相互に支え合う社会づくりを進める力)
 (サステナビリティ：安心・安全で持続可能な社会づくりを進める力)

(2) 主となる専攻が芸術文化分野の学生のディプロマ・ポリシー

芸術文化マネジメント能力
 (様々な芸術文化と地域社会をコーディネートし、地域社会の課題を解決できる力)

芸術文化学士（専門職）に求められる観光マネジメント能力
 (観光分野の知見を活用し、芸術文化の新たな展開とそれに基づく地域の課題解決を進める力)

(3) 主となる専攻が観光分野の学生のディプロマ・ポリシー

観光マネジメント能力
 (観光による地域の活性化に主体的に取り組む協働能力と観光業界で活躍するための多角的な思考能力)

観光学士（専門職）に求められる芸術文化マネジメント能力
 (芸術文化分野の知見を活用し、観光分野での新たな価値をつくり出す創造力)

10 育成する人材、卒業後の進路等

	芸術文化学士(専門職)	観光学士(専門職)
育成する人材	芸術文化マネジメント能力を身に付けたうえで、地域の観光関連事業者と連携することにより新たな価値を創造できる専門職業人	観光のマネジメントの特性を理解したうえで、地域活性化の力となる芸術文化分野の知見を生かして、新たな観光の展開を具体化できる専門職業人
主な職種	アートマネジャー アーツカウンシル・ディレクター(公共)	観光事業プランナー・マネジャー DMOディレクター(公共)
主な進路	劇団、劇場・文化ホール、メディア産業、文化芸術団体、地方公共団体 等	旅行会社、航空会社、鉄道会社、ホテル・旅館、テーマパーク、観光団体、地方公共団体 等

11 臨地実務実習等の実施（専門職業科目）

理論に裏付けられた実践力を育成するため、講義科目との関連性を考慮し、基礎的な知識や技能を修得した上、実社会で行われている業務の処理能力を修得するよう4年間通して段階的かつ重層的に体系化した臨地実務実習等の実践科目を配置する。
 (主な実習先)

【観光】 日本航空、JR西日本、神姫観光、全但バス、京都丹後鉄道、JTB、日本旅行、近畿日本ツーリスト関西、城崎温泉・湯村温泉等の旅館・ホテル、関西観光本部、ひょうご観光本部、せとうちDMO、豊岡観光イノベーション(DMO)、KDDI、ネスタリゾート神戸、スキー場・マリンスポーツ等のレジャー施設 等

【芸術文化】 城崎国際アートセンター、兵庫県立芸術文化センター、ピッコロシアター、びわ湖ホール、こまばアゴラ劇場、江原河畔劇場 等

【共通】 地方自治体(但馬3市2町、但馬・丹波・中播磨県民局(センター))、但馬地域民間企業、豊岡演劇祭、鳥の演劇祭(鳥取県)、利賀フェスティバル(富山県) 等

12 教育課程連携協議会の設置

地域社会との連携により、教育課程を編成し、円滑かつ効果的に教育を実施するため、芸術文化活動を推進する団体、観光関連事業者、地元の地方公共団体、商工団体、その他地域関係者等(計18人)で構成する教育課程連携協議会を設置

【審議事項】

- ① 芸術文化活動を推進する団体、観光関連事業者及び地域社会との連携による授業科目の開設その他の教育課程の編成に関する基本的な事項
- ② 芸術文化活動を推進する団体、観光関連事業者及び地域社会との連携による授業の実施その他の教育課程の実施に関する基本的な事項並びにその実施状況の評価に関する事項

13 アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

本学の教育目標に理解を示し、学修に取り組もうとする、次のような資質・能力・態度を備えた者を受け入れる。

- ① 高等学校で習得すべき基礎的学力を身に付けている人（知識・技能）
- ② 専門職大学での学修に必要な柔軟な思考による創造力、判断力、リーダーシップ、コミュニケーション能力を身に付けている人（思考力・判断力・表現力）
- ③ 芸術文化及び観光に関する専門的知識・技能を身に付けた上、その知見を生かして新たな価値創造に挑戦し、地域の活性化を図りたいという強い意欲を持っている人（主体性・協働性）
- ④ 多様な価値観に対する理解を深め、自分と異なる価値観や文化的な背景を持った人々とも交流を促進しようとする強い意欲と、相互に支え合いながら他者と協働して行動しようとする寛容性を持っている人（主体性・多様性・協働性）

14 入学者選抜方法

(1) 令和3(2021)年度入学試験

① 学校推薦型選抜

[実施時期] 令和2年12月12日(土)
 [出願期間] 令和2年11月18日(水)～11月25日(水)
 [募集定員] 20人 [試験会場] 豊岡
 [試験科目] グループワーク・小論文・面接
 ※ 選抜は試験の結果と出願書類等を踏まえ総合的に行う
 ※ 志願者数が募集定員の4倍を超えた場合は、書類審査を実施する場合がある

② 総合型選抜(旧AO試験)

[実施時期] 2次: 令和2年12月20日(日)
 [出願期間] 令和2年11月24日(火)～12月1日(火)
 [募集定員] 20人 [試験会場] 神戸(2次)
 [試験科目] 1次: 書類選考(志望理由書等)
 2次: グループワーク・小論文・面接
 ※ 選抜は試験の結果と出願書類等を踏まえ総合的に行う
 ※ 1次試験の合格者数は募集定員の4倍程度

③ 一般選抜

A日程

[実施時期] 1次: 令和3年2月7日(日)
 [実施時期] 2次: 令和3年2月23日(火・祝)
 [出願期間] 令和3年1月19日(火)～1月25日(月)
 [募集定員] 35人
 [試験会場] 1次: 豊岡・神戸・東京
 2次: 豊岡
 [試験科目] 1次: 学科試験(英語・国語)
 2次: 集団面接・小論文
 ※ 選抜は試験の結果と出願書類等を踏まえ総合的に行う
 ※ 1次試験の合格者数は募集定員の6倍程度

B日程

[実施時期] 令和3年3月4日(木)
 [出願期間] 令和3年1月19日(火)～1月25日(月)
 [募集定員] 5人
 [試験会場] 豊岡・神戸
 [試験科目] 学科試験(英語・国語)
 ※ 選抜は試験の結果と出願書類等を踏まえ総合的に行う

(参考) 広報活動実績

プレカレッジ(Web)	8/29～30	282名
オープンキャンパス(豊岡)	9/13、9/20	156名
大学ホームページユーザー数		68,187件
動画視聴回数(チャンネル登録224)	9,208回	(9本計)
資料請求(R2.10.26時点)		3,889件

(2) 令和4(2022)年度入学試験の予告

- ・一般選抜(A・B日程)において、大学入学共通テストを利用予定
 [試験科目: 英語、国語、(地理・歴史・公民から1科目選択)]
- ・一般選抜B日程において、小論文を実施

芸術文化観光専門職大学の概要

15 施設、設備等の整備

(1) 校地、運動場の整備

- ① 校地
 - 校地面積：7,370.69㎡ [豊岡市から無償借用]
- ② 運動場
 - 大学周辺の市有グラウンド等を利用
 - 校舎内にトレーニング室を設置

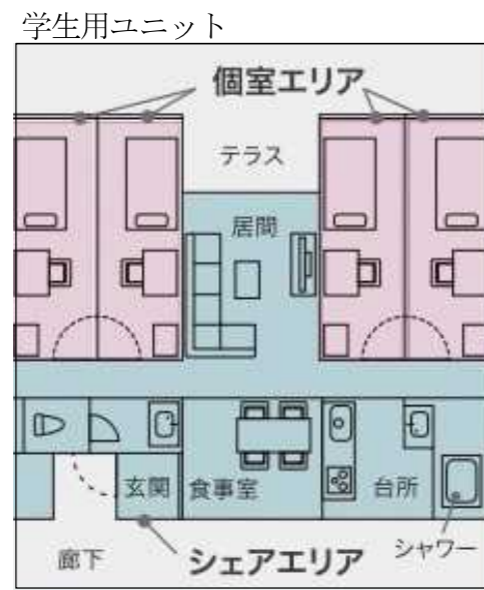
(2) 校舎等施設の整備

- ① 全体整備計画
 - 構造規模

学舎 教育研究棟	：鉄骨造4階建て	延床面積	8,486.55㎡
実習棟	：鉄筋コンクリート造2階建て	延床面積	3,446.35㎡
学生寮	：鉄骨造3階建て	延床面積	3,479.52㎡
 - 整備スケジュール
 - 工事着手 令和元年10月15日
 - 工事完成 令和3年2月末(予定)
- ② 講義等に必要な教室の整備計画
 - 大教室(3)、中教室(6)、小教室(6)、情報演習室兼語学学習室(1) ほか
- ③ 実習等に必要な教室の整備計画
 - 劇場(1)、実習室(5)、スタジオ(2) ほか
- ④ 教員研究室等の整備計画
 - 教員研究室[1人部屋](33)、教員研究室[4人部屋](8)、共同研究室(5) ほか
- ⑤ 各種センター
 - 実習支援センター、キャリアサポートセンター、国際交流センター、地域リサーチ&イノベーションセンター、エクステンションセンター
- ⑥ その他の施設
 - 図書室、自習室、PBL室、医務室、喫茶室、トレーニング室 ほか

(3) 学生寮

- 1年次全寮制
- シェアハウス方式
- [個室4室を1ユニット(24)]
- 招へい教員等個室(9)、
- 交流室(1) ほか



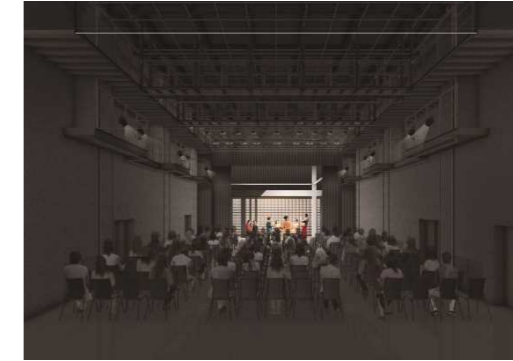
(4) 特長施設

- ① 図書館
 - ・一般図書、専門図書、視聴覚資料、
 - 学術雑誌(電子ジャーナル含む) (10万冊収蔵可能)
 - ・一般県民にも開放



② 劇場

- ・舞台機構や音響設備等を整備
- ・舞台芸術実習等の本格的な演劇カリキュラムを展開し、豊かな感性やコミュニケーション力を養成
- ・講堂としても利用(公開講座等)



③ スタジオ

- ・姿見鏡、クッション性のある木床等を整備
- ・1年次に全員がコミュニケーション演習を履修し、実践と理論による対話的コミュニケーション力を養成



全体 外観イメージ



学生寮 外観イメージ



大学 外観イメージ

